

# 県南家畜衛生情報

2023  
第94号  
令和5年5月30日

主 な 内 容	● 巻頭言	……1
	● 高病原性鳥インフルエンザの発生状況	……2
	● 本県の野生イノシシの豚熱感染状況	……3
	● 韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況	……4
	● 牛伝染性リンパ腫対策の取り組み	……5
	● 韓国で4年ぶりに口蹄疫が発生！	……6
	● 死亡牛は速やかに県南家畜保冷保管施設に搬入しましょう	……7



## 巻頭言： 新型コロナ対策は緩和されたけど

岩手県県南家畜保健衛生所 所長 北川 睦

木々の緑が深くなり、放牧地で草を食み走り回る若牛達の元気な姿に初夏の訪れを感じる季節となりました。

新型コロナ感染症の規制緩和に伴い、人の生活は平常な環境に戻りつつありますが、家畜感染症はその手を緩めてくれません。昨年度は、動物鑑賞施設、大規模育雛場で高病原性鳥インフルエンザが発生し防疫措置を講じました。皆様のご理解・ご協力により迅速な防疫措置を講じ、まん延を食い止めることができました。あらためて感謝申し上げます。

昨シーズンは本病が全国的に猛威を振るい、26 道県 84 事例の発生、約 1,771 万羽が殺処分されました。物価の優等生だった卵の価格が急騰、大手外食チェーンのメニュー変更など多方面に大きな影響を及ぼしています。高規格な施設で発生が相次いだことも大きく報道されました。伝染病の侵入防止には、各農場が飼養衛生管理基準に基づいた対策を、不断の検証とブラッシュアップで取り組み続けることが重要であるとあらためて認識した次第です。

豚熱につきましては、昨年4月に感染源となる豚熱に感染した野生イノシシが管内で確認され、以降、当家保管内では86頭が確認されています。昨年度より、猟友会や各市町等のご協力を得て、野生イノシシへの経口ワクチン散布を開始しました。山林など野生イノシシが生息しているエリアに立ち入った際は、長靴等の泥や土を落としてから帰宅するなどウィルスの拡散防止にご理解とご協力をお願いします。

また、韓国において口蹄疫が発生し、ワクチン接種農場でも発生が確認されており、予断を許さない状況にあります。新型コロナ感染症対策が緩和され、経済活動の活発化に伴いインバウンド需要喚起により訪日外国人が増加しています。口蹄疫はもとより、ワクチンも治療法も無いアフリカ豚熱など、様々な家畜伝染病の侵入リスクは高まっています。引き続き侵入防止等に危機感をもって取り組んで参ります。

慢性疾病対策では、牛ヨーネ病や牛伝染性リンパ腫など、新規発生があるものの、農場や関係者の理解も深まり、清浄化対策が着実に進んでいます。特に伝染性牛リンパ腫対策では地域ぐるみの対策が重要と考えており、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

畜産経営を取り巻く環境は厳しい情勢が続いておりますが、家畜伝染病の侵入・まん延防止対策、慢性疾病対策、動物用医薬品の適正使用、飼料の流通安全など、様々な業務で地域の畜産を支援してまいります。健康な家畜で地域の畜産が発展するよう一緒に頑張っていきましょう。

# 高病原性鳥インフルエンザの発生状況

中小家畜課 小家畜担当

令和5年5月末現在、国内の家きんに於いて26道県84事例の本病が発生し、過去最多の1771万羽が殺処分されております。本県でも2月及び3月に2例の発生がありました。近年、野生動物における本病の広がりが懸念されており、流行シーズンが長引く傾向にあります。今シーズンの全国の発生事例では、鶏舎屋根裏等、**目につみにくい場所の破損や、それらを通じた野生動物の鶏舎への侵入、衣服や長靴の交換や消毒の不徹底**などが指摘されました。今一度、**飼養衛生管理基準の遵守徹底**による本病侵入防止対策をお願いいたします。

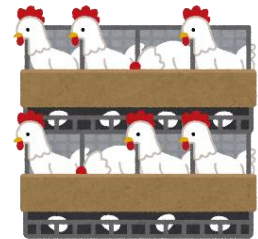
## ～ 県内発生事例の概要 ～

### 1 2月発生例（他県の発生の疫学関連）

- (1) 飼養施設 : 家きん飼養農場
- (2) 飼養状況 : 家きん 10,000羽
- (3) 防疫措置

- ・R5年2月2日、茨城県の家きん飼養農場で本病が発生
- ・上記農場から導入されたヒナ約300羽を疑似患畜と診断
- ・同日、当該ヒナの殺処分及び畜舎消毒を行い、防疫措置完了

※疫学関連による疑似患畜であり、移動制限は設定なし



### 2 3月発生例

- (1) 飼養施設 : 採卵鶏飼養農場
- (2) 飼養状況 : 採卵鶏（育成） 84,000羽
- (3) 経緯

- ・R5年3月13日、県南家畜保健衛生所に異常鶏の発生について報告。同所が飼養施設に立入り、簡易検査を実施した結果、「陽性」を確認
- ・14日、中央家畜保健衛生所が遺伝子検査で「陽性」を確認。国が疑似患畜と判定

#### (4) 防疫措置

- ・殺処分（R5.3.14～15） : 採卵鶏（育成） 84,000羽
- ・埋却（R5.3.14～17） : 殺処分家畜、飼料等汚染物品
- ・施設消毒（R5.3.16～31） : 1週間ごと3回実施

#### (5) 周辺農場の移動制限等

- ・移動制限（対象農場なし）：発生農場を中心に、半径3km以内の区域について、家きん等の移動を禁止
- ・搬出制限（R5.3.14～4.8）：発生農場を中心に、半径3～10km以内の区域について、家きん等の区域外への搬出を禁止

#### (6) 畜産関係車両の消毒

発生施設から半径3km及び10km地点を中心に、3か所の消毒ポイントを設置し、制限区域内を通行する畜産関係車両（家きん）の消毒を実施

# 本県の野生イノシシの豚熱感染状況

中小家畜課 中家畜担当

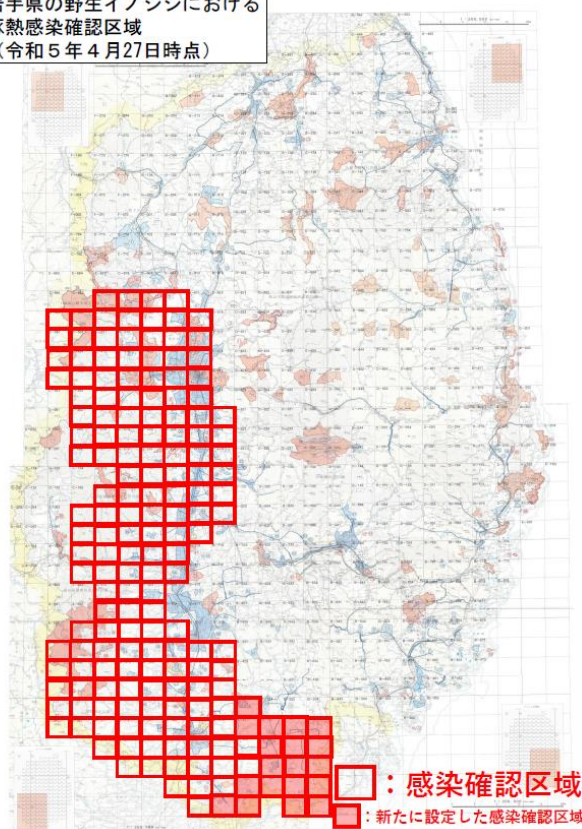
本県では、野生イノシシの豚熱感染状況を把握するため、令和元年10月以降、死亡した野生イノシシの検査を開始し、令和2年11月以降は、捕獲された野生イノシシの検査も実施してきました。令和4年4月に一関市で捕獲されたイノシシから、初めて豚熱ウイルスが検出されました。その後、平泉町、奥州市、北上市、花巻市、盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町の捕獲・死亡イノシシからも豚熱ウイルスが検出され、令和5年4月27日現在、**99頭**で豚熱ウイルスが確認されています。

## 【令和5年4月27日現在の野生イノシシ検査状況】

区分		年度		R1	R2	R3	R4	R5	計
								4月	
捕獲 イノシシ	陽性	0	0	0	90	3	93		
	陰性	0	134	395	317	21	867		
死亡 イノシシ	陽性	0	0	0	6	0	6		
	陰性	1	2	4	10	0	17		
検査頭数合計		1	136	399	423	24	983		



岩手県の野生イノシシにおける豚熱感染確認区域  
(令和5年4月27日時点)



今一度、野生動物対策の再点検、徹底をお願いします！

### ◇野生動物侵入防止柵の点検・修繕

### ◇衛生管理区域へ入退場するとき

### 以外は門扉を閉鎖

また、ワクチン接種の効果を過信せず、着衣や長靴の交換、入退場する車両の消毒等、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

飼養豚に異常が認められた際は、当所へ即時通報をしてください。

※ 本県では、感染イノシシが確認された地点から半径10 km圏内にかかる岩手県ハンターマップのメッシュ区画に含まれる区域を、「感染確認区域」と設定しています。

# 韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

中小家畜課 中家畜担当

アフリカ豚熱（ASF）は、ASF ウイルスの豚やイノシシへの感染により、発熱や全身の出血性病変を引き起こす致死率の高い伝染病です。ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大します。

有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務づけられています。

我が国は本病の清浄国であり、これまで本病の発生は確認されておりませんが、ロシア及びアジアでも発生が確認され、特に韓国・中国で拡大しているため、海外からの侵入に備え、**本病の発生予防に努める必要**があります（下図は農林水産省 HP）。



韓国では令和5年4月14日時点で**飼養豚36件の発生、野生イノシシ3,038件の感染が確認**されています。また、海外の報道では「**中国のASFが春節後に急増している**」と報じられています。

このような状況下、新型コロナウイルス対策による入国規制が緩和され、**日本への侵入リスクは一段と高まっています！**

### 韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

2023年4月14日時点

【飼養豚での事例】

事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/6	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道楊口郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/14	京畿道抱川市

【野生イノシシでの事例】(単位: 件)

京畿道	坡州市 100
	漣川郡 418
	抱川市 94
	加平郡 62
	鉄原郡 37
	華川郡 425
	春川市 222
	福口郡 81
	麟蹄郡 158
	高城郡 12
	寧越郡 223
	襄陽郡 36
江原道	江陵市 108
	洪川郡 63
	平昌郡 43
	東草市 1
	旌善郡 169
	橫城郡 57
	三陟市 84
	原州市 66
	大田市 13
	東海市 8
忠清北道	丹陽郡 137
	堤川市 74
	報恩郡 73
	槐山郡 6
	陰城郡 1
	忠州市 93
	尚州市 63
	蔚珍郡 29
慶尚北道	開慶市 54
	榮州市 5
	醴泉郡 7
	香化郡 13
	盈徳郡 3
合計	3,038

初発日: 2019年9月16日  
 発生数(豚): 36件  
 感染数(野生いのしし): 3,038件  
 豚、いのしし飼養頭数: 約 1,122万頭

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成  
 飼養頭数: FAO統計(2021)による  
 赤字は更新箇所

★飼養衛生管理の一層の向上  
 ★入山者等へのゴミの持ち帰りの啓発

に努めましょう。

# 牛伝染性リンパ腫対策の取り組み

大家畜課 衛生担当

県内における令和4年度の牛伝染性リンパ腫（BL）の発生は 150 戸 181 頭で、その7割（102 戸 131 頭）が管内の牛です。

当所では、今年度も公共牧場や地域における BL 対策を支援します。

## 公共牧場（共同利用施設）の対策

管内にある公共牧場（公共牧野、キャトル・哺育育成センター等）では、入牧前に検査を実施し、BL 感染状況の確認をしています。その検査結果に基づいて、陽性牛と陰性牛との分離飼養を進め、秋の閉牧時には、陰性牛の検査を行い、夏の間感染を防ぐことができているかを確認します。今年度から新たに 1 牧場が対策開始予定です。

また、中途入退牧する牛の輸送中の BL 感染を防ぐため、陽性牛と陰性牛を混在して運搬する際にはアブ防除ジャケットを活用している牧場もあります。

## 地域ぐるみの対策

近年、地域ぐるみで BL 対策を進める機運が高まっています。

平泉町では、今年度から、町事業により、検査費用の半額を助成して、町内農場の BL 感染状況を把握するなど、対策を進めており、当所は、BL 検査を支援しています。



## ～ BL 対策資材のご紹介 ～

県南家畜衛生推進協議会では、次の資材を取り扱っています。  
ぜひ、ご活用ください

### ○アブ防除ジャケット

サイズ名	全長(cm)	月齢目安	単価（税込み）
母牛	190	20 か月齢～	4,300 円
大	170	10 か月齢～	4,300 円
中	150	6 か月齢～	2,800 円
小	130	4 か月齢～	2,500 円
ミニ	110	～4 か月齢	2,500 円

### ○アブキャップ

価格はお問い合わせください。

問合せ：岩手県南家畜衛生推進協議会 Tel 0197-24-5532

## 韓国で4年ぶりに口蹄疫が発生！

大家畜課 防疫担当

令和5年5月、韓国の牛及び山羊飼養農場において、口蹄疫の発生が確認されました。

日本での過去の発生（2000年、2010年）を見ると、韓国での発生の後、日本で発生しています。 **日本へ侵入するリスクが極めて高い状況**です。アジア諸国でも発生が確認されています。

◎毎日の**健康観察**を徹底しましょう！

もし、写真のような口蹄疫を疑う症状がある場合、直ちに獣医師または家畜保健衛生所（電話0197-23-3531）に連絡してください。



泡状のよだれ



鼻のびらん(ただれ)



蹄の水疱(水ぶくれ)  
(やぶれている)



鼻の水疱(水ぶくれ)



蹄の水疱(水ぶくれ)

### 【主な症状】

- ・発熱や食欲不振
- ・泡状のよだれ
- ・口、鼻、蹄、乳房の水疱(水ぶくれ)

出典：農林水産省 HP

- 病原体 : 口蹄疫ウイルス
- 感染動物 : 牛、豚、めん羊、山羊など
- 伝搬 : 水疱中の液体、よだれ、乳汁、排泄物などを介して感染が広がります。

## ◎農場への侵入防止対策を徹底しましょう！

ウイルスは人・物・動物の移動、不正に持ち込まれた汚染された畜産物などにより侵入するので、特に次の3つの対策を行いましょう。

### (1) 消毒の徹底

口蹄疫ウイルスに効果がある消毒薬は以下のとおりです。

- ・消石灰
- ・バイオシッド 30 (1,000 倍)
- ・アンテックビルコン S (2,000 倍)
- ・クレンテ (2,000 倍)
- ・スミクロール (1,000 倍) など

### (2) 農場への立ち入り制限

関係者以外の立ち入りを禁止する看板を設置しましょう。

特に口蹄疫発生地域（アジア諸国）に立ち寄った人の立ち入りを制限しましょう。

また、発生地域の農場からの郵便物は持ち込まないでください。

### (3) 農場関係者の発生地域への渡航の自粛

## 死亡牛は速やかに県南家畜保冷保管施設に搬入しましょう！

大家畜課 防疫担当

県南地域で発生した死亡牛の「適切な一時保管」及び「牛海綿状脳症（BSE）検査材料の採取」を行うため、金ヶ崎町に県南家畜保冷保管施設があります。

気温上昇や搬入が遅れて、死亡牛が腐敗すると・・・

○ BSE 検査で正しい結果が出ない場合があります。

○ 死亡牛の処理に障害が生じる場合があります。

例①：牛の死体搬出を業者に断られる

例②：化製場で牛の受け入れを断られる

→ 地域全体として断られてしまう可能性も考えられます。



○ 牛が死亡した際には、速やかに死体収集運搬業者へ連絡するか、自ら県南保冷保管施設に運搬するようお願いいたします。

# 令和5年度組織体制

## 【県南家畜保健衛生所】

- ◆所 長 北 川 睦
- ◆次長兼中小家畜課長 八重樫 岳 司
- ◆大 家 畜 課 長 関 慶 久

	担当	役職	氏名	主な業務
大家畜課	衛生	上席獣医師（総括） 主査獣医師 主任獣医師	平 間 ち が 鈴 木 啓 太 戸 塚 知 恵	・牛伝染性リンパ腫対策 ・牛の生産性向上対策 ・農場 HACCP 指導
	防疫	上席獣医師（総括） 主任獣医師 獣医師	佐々木 悠 佳 小 松 正 工 藤 裕 太	・牛、馬の伝染性疾病の発生予 防及びまん延防止 ・牛ヨーネ病発生農場の清浄化 対策 ・死亡牛 BSE 検査
中小家畜課	中家畜	上席獣医師（総括） 主任獣医師 獣医師	大 森 さくら 川 畑 由 夏 原 田 志 乃	・豚、綿山羊の伝染性疾病の発 生予防及びまん延防止 ・豚の生産性向上対策
	小家畜・ 総務	上席獣医師（総 括） 主任 主任獣医師 獣医師	澤 田 徳 子 <u>伊 藤 絵 里</u> 村 松 圭 以 高 井 雄 也	・鶏、蜜蜂の伝染性疾病の発生 予防及びまん延防止 ・鶏の生産性向上対策

下線：転入職員

## 令和5年度ワクチン接種料金

ワクチン	接種料金
牛五種混合（生）	2,120 円
牛五種混合（不活化）	1,950 円
牛六種混合（生・不活化）	2,400 円
牛六種混合（生）	2,390 円
牛アカバネ病	1,940 円
牛ヘモフィルス	1,320 円
豚丹毒（生）	167 円
豚丹毒（不活化）	173 円

（一社）岩手県畜産協会【受託事業分】

※お問い合わせは県南家畜衛生推進協議会まで。

## 【県南家畜衛生推進協議会】

- ◆事務局長 安 倍 副
  - ◆事務局員 伊 東 淳 子
- 下線：新職員

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東館 41-1

岩手県県南家畜保健衛生所 Tel 0197-23-3531 Fax 0197-23-3593

岩手県南家畜衛生推進協議会 Tel 0197-24-5532 Fax 0197-23-6988